

経営比較分析表（令和6年度決算）

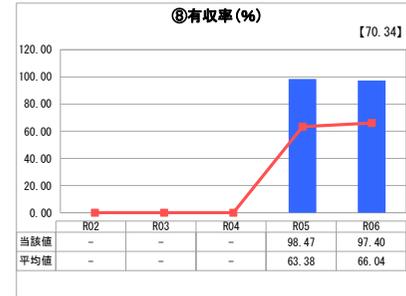
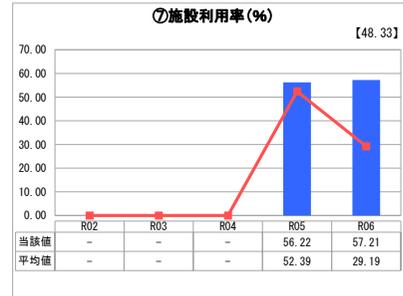
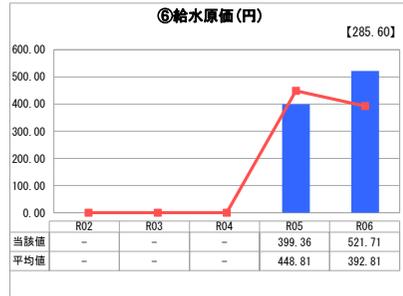
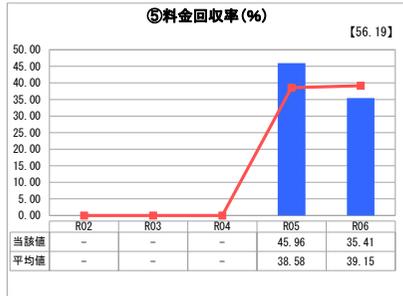
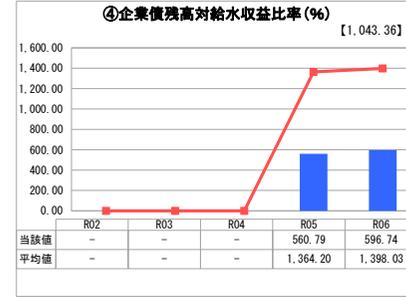
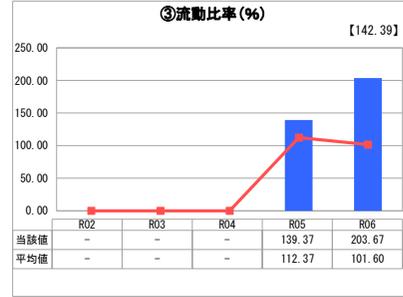
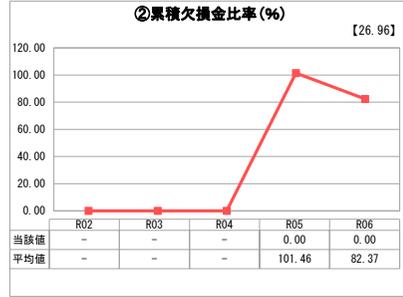
熊本県 和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	69.96	17.30	3,575	

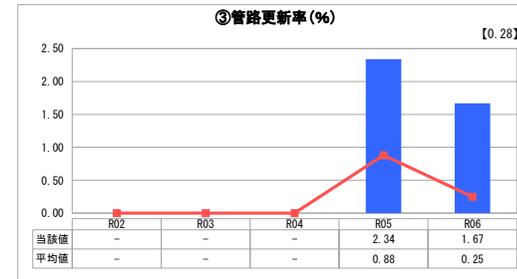
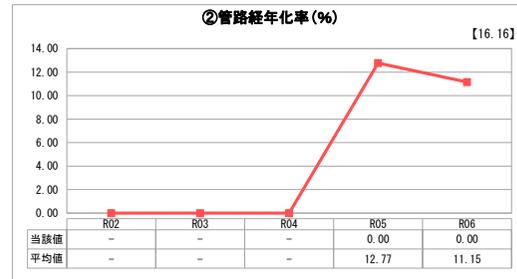
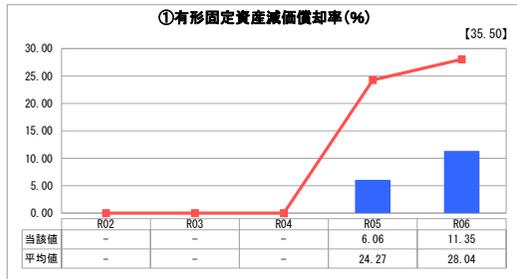
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,007	98.78	91.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,548	1.84	841.30

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性について、経常収益の給水収益は前年に比べ増加しており、他会計補助金も増加しています。そのため経常収支比率は100%を超える数値になっています。しかし、使用料が多い為、収益が費用を随うことは難しい状況であるため繰入金に頼るしかないのが現状です。

そのほかの数値については、平均値に比べ高くなっていますが、当町は県内でも高い使用料金設定となっており、町全体の普及率が低く、自家用井戸や井戸と町水との併用世帯が多い為、収益があまり上がりず料金回収率も平均値より高くなっています。

今後の人口減少や維持管理費の増加等を踏まえ、費用面では経費削減を、収入面では加入促進を行い健全性を堅持します。

経営の効率性については、将来の人口減少等による水需要の低下と減収を踏まえ、施設のダウンサイジング等を検討していきます。

2. 老朽化の状況について

当町の水道管は、平成元年度より整備されており、一番古いもので36年を経過しています。他団体に比べれば比較的新しいですが、年々少しずつ漏水箇所が発見されていることから、令和4年度から計画的に更新を進めています。

管路更新については、多額の投資が必要となることから更新計画の検討、財政計画等、様々な課題を複合的にとらえ、限られた財源の中で効率的な実施に努めます。

全体総括

現時点では概ね堅調な経営状況ではあるものの、維持管理費の増加や起債償還など財政的に厳しい状況にあり、施設のポンプや設備等も更新時期を迎えています。計画的に更新を進めて行くために計画を作成し財政状況を見ながら事業を進めて行きます。

また、急速な人口減少に伴うサービス需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大等、経営環境が厳しさを増す中、経費の削減、企業債残高の低減等により、将来負担の軽減を図るとともに、将来の需要に見合った施設計画の策定、水道施設の老朽施設の更新、老朽管の更新への効率的な財源配分に努め、経営基盤の強化を図ります。

和木町簡易水道事業は、令和7年3月に経営戦略の見直しを行っています。